

令和元年度事業計画

1 基本方針

新しい年号の始まりにあたりシルバー人材センターの設置目的、意義を再確認したいと思います。

基本理念「自主・自立・共働・共助」と謳われているように、シルバー人材センターは会員が仕事だけをする組織、ただ会員へ仕事を紹介するだけの組織ではありません。

センターの構成員は、会員一人ひとりであり、センターの行う事業は、「臨・短・軽」即ち、臨時的かつ短期的な就業又は、その他の軽易な作業に係る就業となっており、並びにその他の社会的参加活動を推進することにより、高齢者の生きがいの充実と福祉の増進を図るとともに、活力ある地域社会造りに寄与することを目的としています。

近年、少子高齢化による労働力不足や定年制度の見直しなど雇用状況が大きく変化し、そのため国は労働力不足の解消として外国人労働者の受け入れを可能にする法案を成立させました。このようなことから将来的にシルバー運営にも少なからず影響が出るものと思われます。

さらに、派遣事業への切替え等、今後さまざまな課題も出てくることとは思われますが、町当局や各種団体と連携を取りながら生涯現役を目標に、地域に密着した魅力あるセンターづくりに取り組んで参ります。

2 事業項目

- (1) 基本理念の周知及び組織の強化
- (2) 就業機会の拡大並びに会員拡大の推進
- (3) 安全就業及び交通安全の推進
- (4) ボランティア活動による地域社会への貢献
- (5) 労働者派遣事業の推進

3 実施計画

- (1) 基本理念の周知及び組織の強化
 - ① 職員・会員は常に基本理念を遵守し、会員主体の自主的運営体制の確立に取り組み、会員の意識改革を図る。
 - ② 事務局職員の機能向上は不可欠であり、各種研修会に参加し自己研鑽に努め、資質向上を図り、会員並びに発注者のあらゆる要望に対応出来る事務局体制を構築する。
- (2) 就業機会の拡大並びに会員拡大の推進
 - ① 町広報誌やホームページの活用により普及啓発に努める。
 - ② 独自事業と向春草栽培に着手し、就業拡大、会員拡大を図る。

③ 会議研修室を会員のサークル活動の場として開放し、会員相互の親睦を深める。

(3) 安全就業及び交通安全の推進

- ① 安全就業は最優先課題であり、事故防止の施策を積極的に見極め傷害、賠償事故ともにゼロを目指す。
- ② 安全就業・基準の遵守とあわせ、講習会や安全パトロール等を実施し、安全意識の浸透を図る。

(4) ボランティア活動の推進

- ① 普及啓発月間における広報活動やボランティア作業を実施し、地域社会に親しまれ、信頼されるセンターづくりに努める。
- ② ボランティア活動を通じ、会員相互の連帯意識の向上を図る。

(5) 労働者派遣事業の推進

- ① 鹿児島県シルバー人材センター連合会が実施する労働者派遣事業所として、高齢者の多様な働きに応じた就業機会の確保、提供に努める。

令和元年度努力目標

配分金	4千600万円
会員数	185名
就業延人数	9千人

主な行事予定

4月	安全対策委員会
5月	令和元年度定時総会
6月	刈払機講習会
9月	レクリエーション 安全対策委員会・剪定講習会
10月	シルバーの日・ボランティア作業
12月	会員忘年会
1月	安全対策委員会